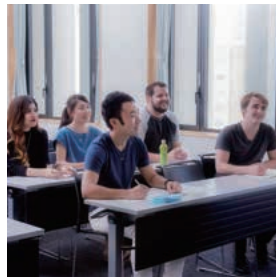




Aoyama Gakuin since 1874



AOYAMA VISION

青山学院 150年への挑戦

Vision 2014-2024

AOYAMA VISION パワーアップ宣言

150周年へ。 新たな飛躍を、共に。

青山学院は、キリスト教信仰にもとづく建学の精神により、

「人と社会のために何ができるか」を考え実践し続けてきた総合学園です。

AOYAMA VISIONは、創立140周年を迎えた2014年に、150周年への更なる飛躍のための指針として発表し、

「サーバント・リーダー育成」のために3つのテーマと7つのActionを提示しました。

今回の「AOYAMA VISIONパワーアップ宣言」では、

ビジョン達成のための柱として「4 Challenges」を新たに掲げ、学院の課題をより明確にし、

各設置学校と学院の代表的な取り組みをActionとして紹介しています。



Mission

建学の精神

青山学院の教育は、
永久にキリスト教の信仰にもとづいて、
行われる。

教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

スクール・モットー

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World.
(聖書 マタイによる福音書 5章13-16節より)

Vision 2014-2024

すべての人と社会のために 未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園

今、世界が必要としているのは、自分の使命を見出して進んで人と社会とに仕え、
その生き方が導きとなる人、サーバント・リーダーです。

青山学院が育むサーバント・リーダーは、

リベラルアーツ・
深い専門知識

他者を敬い
違いを受け入れる心

人と社会に
仕える行い

Sincerity
Simplicity

を兼ね備えた人、すなわち「地の塩、世の光」を体現する人物です。

～サーバント・リーダーとして世界で活躍する卒業生たち～



千葉工業大学
未来ロボット技術研究センター 所長
学校法人千葉工業大学 常任理事
古田 貴之さん
◀大学理工学部 1992年卒業
同大学院博士前期課程 1994年修了
同大学院博士(工学) 2000年取得

子どもの頃に抱いた「物事の本質を追求する」という志を実現するために、最前線のロボット研究を行っている本学へ進学しました。大学院での開発研究では、現状に満足することなく進化し続けることの大切さを学び、一生の財産と呼べる仲間に出会いました。これからも志を忘れず、ロボット技術で日本を、世界を良くして、「人々の幸せな未来創り」に貢献したいと思います。



独立行政法人
国際協力機構 (JICA)
専門家(広域アドバイザー)
竹越 久美子さん
◀大学文学部 2001年卒業

挑戦すること、「外」に目を向けること、人と人とのつながりを大切にすること―「開かれたマインド」を持った方々との出会いや、聖書を学んだ経験等から得た青学ならではの学びが、今の仕事にも活かされています。アフリカ各国での農業支援を通して、現地の人々の自立と活躍の場の創出に携われることに喜びを感じながら、これからも自分に与えられた使命を全うしていきます。



ラグビー日本代表
Team Japan 2020
男女7人制日本代表総監督
岩渕 健輔さん
◀初等部・中等部・高等部
大学国際政治経済学部
1998年卒業

前例がないことにも勇気をもって挑戦するという精神は、初等部から大学までの16年間で培われました。また、「他者を許せる人が本当に強い人である」という礼拝での教えも、私という人間が形成されていく上で、大きな要素となりました。初等部でのラグビーとの出会いに感謝し、世界に挑戦する日本ラグビー界の更なる価値向上のため、これからも貢献していきたいと思っています。

AOYAMA VISION 実現の強い意志を「4 Challenges」に込めて

AOYAMA VISIONは、150周年への更なる飛躍を目指した「青山学院の挑戦」の表明です。

学院の基本使命である「教育」と「研究」、その成果を活かした「社会貢献」、快適かつ最先端の「知的空間の創出」。

これら4つを挑戦の柱に据え、「世界」に羽ばたくサーバント・リーダーを育成するべく、数々のActionを展開していきます。

世界と未来を拓く教育

世界をリードする研究

4

Challenges

世界が求める社会貢献

世界に誇る知的インフラ

A O Y A M A V I S I O N

大学のAction

～世界のAGUへのロードマップ～

140余年の伝統に裏付けられた研究、教育の集積として人文的睿智と革新的研究のグローバルな拠点を形成し、創造的思考と公共的使命感に溢れる人材を育てるため、「世界のAGU」という新たな目標に向かって飛躍します。

アカデミック・シティー構想

■ 新図書館の建設と人文知・専門知の集積

新図書館は、アカデミック活動の基盤・拠点として進化し続けます。研究、教育、そして学習支援機能と先進的サービスを備えたハイブリッド図書館として、高度情報通信化、グローバル化に即応し、ラーニング・コモンズとして、知識を集積し、課題解決に繋げるための新しい学びの空間を創出します。



国際交流の様子(チャットルーム)

■ 多様な文化が交錯する学生・研究者の共同体

新たに国際学生寮を建築します。国際交流会館の機能として学生、教職員等が集う交流、集会、学習、図書スペースを設け、入寮生のほか、一般学生も利用できるようにします。



青山キャンパス

■ 知的な美しさを演出するキャンパス構想

青山通り沿いはパブリック・エリアとしての役割を備えるように開発し、更に都市型・国際型私学としてふさわしい未来志向のキャンパスを構想します。

地球公共精神の涵養と社会を支えるリーダーの育成

■ ボランティアセンターを通じた正課としてのサービス・ラーニングの展開

青山キャンパスに開設され、次いで相模原キャンパスに開設を予定しているボランティアセンターの機能をより強化し、正課としてのサービス・ラーニングを実施します。地域行政、国際協力NGO、ソーシャルビジネス等、様々な目線から社会課題に取り組み経験を積むことで、「当事者」として社会を生き、社会の変革を担うことができる地球公共精神を持ったリーダーを育成していきます。



絵本の読み聞かせの様子(フィリピン)

■ 連携協定を活かした地域再活性化の支援

教員個人や学生ボランティア等、様々な繋がりによって、大学が所在する地域のみならず日本全国の地方自治体と連携し、地域貢献活動を行ってきました。今後はこれらを継続的かつより効果的なものとするため、本学が掲げる「社会連携・社会貢献に関する方針」にもとづき組織的な連携へと深化させていきます。



小学生の名前を書く様子(インドネシア)

幼稚園・初等部・中等部・高等部のAction

礼拝、授業、クラブ活動、行事等、すべての学校教育を通じて、園児、児童、生徒の心を豊かに育み、個を大切に成長支援を実施し、サーバント・リーダーを育成します。

幼稚園・初等部では「生きる力」を育み、自己受容と他者を認めることを学びます。

幼稚園

- ◎ 神様とまわりの人に愛される体験の中で安心して生活します。
- ◎ 礼拝を大切に、遊びを中心とした毎日を通して「信頼・喜び・感謝」の気持ちが育まれます。
- ◎ 恵みとして与えられている自然豊かな環境を大切にしています。

- 神様の愛に満たされる礼拝室での祈り
- 季節の恵みを感じ取ることができる園庭での遊び
- いのちの大切さを教えてくれる動物たちとの交流
- 多言語の絵本コーナー



絵本コーナー

初等部

- ◎ “5つのおやくそく”を生活の中に活かしています。
- ◎ 独自の特色ある取り組みを行っています。
- 宿泊行事(洋上小学校・雪の学校等)を含むアクティブラーニング(体験型学習)
- 最先端機器を活用したICT教育
- SEED BOOKSを使った4-4-4制に基づく一貫制英語教育
- 多彩な国際交流プログラム(インターナショナルスクールとの交流、オーストラリアホームステイ等)
- 食の大切さを伝える食育



雪の学校

中等部・高等部では、自身の「生きる力」を他者のために用い、人と社会に貢献することの尊さを学びます。

中等部

- ◎ 教科ごとの専用教室で、生徒の主体的な学びを育てる「教科センター型方式」を取り入れています。
- ◎ 受験勉強にとらわれない、長期的な将来を見据えた教育に取り組んでいます。

- アクティブラーニング、生徒のディベートやプレゼンテーション等の21世紀型スキルの習得
- SEED BOOKSのほか、多様な教材を使った英語運用力の向上
- 生徒の能力を伸ばす発展的で多彩な選択授業、校外学習、卒業生による特別授業や大学の研究室訪問等、多様なプログラム
- 地域に根差したボランティア活動



教科ごとのメディアスペースにおける授業の様子

高等部

- ◎ 文科省指定の「SGH[®]」としてこれまでの取り組みを更に発展させ、多様性を受容し、「サーバントマインド」を持って人と社会に貢献する人物の育成を行っています。

- 海外提携校との交流プログラム、SGHの各種プログラムにおける「個」の体験を他の生徒たちの学びへと発展させるグローバルワークの実施
- 教科を横断した独自の平和・共生に関する学びを記録する「LogBook」を用いた学習と論文作成
- アクティブで、効率的な学びの展開を可能とするICT機器活用の促進
- 未来を担う人間としての生き方、生活のあり方を学び、共有する被災地の学校との交流



SGH成果発表会

学院のAction

総合学園である強みを最大限に活かして、各設置学校の取り組みを支えるとともに、教育・研究の基盤となる環境の整備、青山学院生としてのアイデンティティの形成、設置学校間・地域・校友等との連携を積極的に進めます。

環境を、整える。

より質の高い教育、先端研究への挑戦を可能とする環境を整備するとともに、学院に集うすべての人にとって居心地の良い空間を創出します。

■ キャンパス再開発

- 中等部校舎建て替え(2019年9月完了予定)
- 大学新図書館の建設
- 幼稚園園舎建て替え



ブックカフェ

■ 魅力的な施設整備

- ブックカフェ設置等、知的空間を創出
- パウダールーム設置等、快適なキャンパスライフを支援

■ 「自ら学ぶ力」を育む環境づくり

- ICT教育環境整備
- Aoyama Global Passport Systemの構築

学院を、知る。

140年を超える学院の歴史は、人と社会に貢献し、次世代を育むことを「使命」とした学院関係者=サーバント・リーダーたちの弛まぬ奉仕の歴史でもあります。その姿を多くの方に知っていただき、過去を顧みることのできることを、学院の「使命」を未来に伝えていきます。

■ 学院150年史編纂

- 学院史の編纂
- 学院史研究体制の構築



関東大震災(1923年)の直後に組織された学院によるボランティア救援隊

■ 自校史教育の推進

- 各設置学校の自校史教育の支援
- 各設置学校の自校史教材制作の支援

■ 学院史資料・文化財の活用と公開

- 学院史資料の利便性の向上
- 魅力的展示空間の創造

絆を、結ぶ。

幅広い世代が共に学ぶ青山学院では、地域に開かれたキャンパスとして、近隣住民の方々や地元企業、自治体と連携した教育・研究も多彩に展開しています。青山学院に集い、支えてくださる皆様の絆を結ぶ総合学園として、これからも歩みを続けます。

■ ボランティアからサービス・ラーニングへの展開

- 活動の要となる、全学院的な「サービス・ラーニングセンター(仮称)」の設置
- 全学院的なフィリピン訪問プログラムの継続
- ボランティアセンターと正課科目の連携 大学
- 国際協力、社会福祉、環境保護等、多様なボランティア活動を通じた学びの展開

■ 学校間連携の強化

- 「高等部生徒による大学授業の履修」[学間入門講座] 高等部・大学
- 「国際理解・留学準備プログラム」 ※一部女子短期大学含む
- スタディールームボランティア(放課後の自習補助) 中等部・大学
- 一緒に遊ぼう会 幼稚園・初等部

■ 校友と学院・在校生による連携強化

- 「ようこそ先輩」(OB/OGによるキャリア教育) 初等部
- 在校生就職支援委員会 (OB/OGとの交流カフェ、模擬面接指導・業界研究等) 大学
- 学校行事のサポート、OB/OGによる在校生のスポーツ・文化活動の指導・支援 初・大
- 校友と在校生が交流できる場の創出
- 学院から校友へのきめ細やかな情報発信

■ 新経営宣言の実現

- 経営スローガン“Be the Difference”™に基づき経営の舵取り
- 校友、教職員、在校生、保護者を中心とした「10点満点の愛校心」
- 万代基金による経営基盤の充実
- SWOT分析に基づく各設置学校の戦略実行計画の実施

先端研究への挑戦と次世代研究者の育成

- 研究展開力の強化 ～研究マネジメントの発想のもとに～
- 次世代研究者の育成
- 女子短期大学の伝統を継承したジェンダー研究所創設

多様化する教育ニーズへの対応

- 社会人のためのリカレント教育プログラム
- 地域の未来創造に貢献する人材の養成を目指す新学部の設置検討

AGUで「日本の心を学ぶ」～国際日本研究の拠点作り～

- 留学生受入れのための魅力的な「日本研究」プログラム開設
- 留学生のための日本語関連講座科目の充実

ライフプランを見据えた就職支援強化

- 入学初年度からのキャリア開発支援
- 国内外インターンシップ機会の拡大

グローバル・プレゼンスの確立

- 5つの海外オフィスを通じた戦略的な広報の展開
- インバウンド、アウトバウンド留学生数の飛躍的な増加
- 海外留学奨学金制度の充実
- 研究機関ネットワークの国際的なハブ建設

情報化時代における人文知の役割の模索

- ユニークなリベラルアーツ教育の展開
- 古典・古文書のデジタル文庫プロジェクトの展開
- 青学TVの実践

青山グローバル・スタンダードの開発と展開

- スタンダードからグローバル・スタンダードへ
- 英語教育におけるEラーニング、ミクス・ラーニングの開発
- 多言語話者の育成

知の発展を手助けし、学ぶ者に寄り添う事務体制

- 事務職員のキャリア形成支援プログラムの展開
- グローバル化に向けた事務対応能力の向上



学院からの Message

教育の質は日本のみならず世界の未来を左右する重要なテーマであるという認識が高まる中、幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園である青山学院の使命と責任は、以前にも増して大きなものとなっています。「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」は、そうした現在の激変する教育環境に対応するために、必要な取り組みを積極的に、スピード感をもって、質的向上を図りながら進め、具体的な目に見える成果を上げることを目標としたものです。同時に発表した「青山学院 新経営宣言」は、経営に関する新たな戦略であり、「AOYAMA VISION パワーアップ宣言」の実現を経営的に支えるもので、二つの宣言は青山学院の成長・発展の両輪です。今必要なことは、私たちが「二つの宣言の成功は、青山学院に関わる一人ひとりが、いかに自分自身の課題として取り組むかにかかっている」ということを心に刻み行動することです。創立150周年に向け、青山学院は一丸となり、新経営宣言を軸として確固たる財政基盤を構築し、世界を視野に、より良い教育・研究と社会貢献の実現に向け邁進してまいります。

中等部 部長	初等部 部長	幼稚園 主事	大学 学長	女子短期大学 学長	高等部 部長
敷島 洋一	中村 貞雄	石橋 エリ	三木 義一	八耳 俊文	後辺 健
青山学院 理事長			青山学院 院長・幼稚園 園長		
堀田 宣彌			梅津 順一		

AOYAMA VISION (2017年11月発行)

学校法人 青山学院

〈問合せ先〉総合企画部 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-6384
<http://www.aoyamagakuin.jp/>